

---

## 「当科におけるプラチナ抵抗性再発卵巣癌に対する化学療法の治療成績」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテを用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2015年01月01日～2022年10月31日までに当院で化学療法（抗癌剤治療）を受けた卵巣癌患者の方

##### 2. 研究の目的

治療を受けられた皆様の病期、抗癌剤を用いた期間などを調べ、抗癌剤の種類によって副作用にどのような差があったのかなどについて検討します。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後～2023年10月31日

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

電子カルテに記載された情報を調べ、研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である柏原 聡一郎が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

##### 2. 試料・情報の取得方法

当院で化学療法（抗癌剤治療）を受けた卵巣癌患者さんの診療記録を用います。

##### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 柏原聡一郎（研究代表者）  
産婦人科 赤堀太一  
産婦人科 重松幸佑  
産婦人科 木崎雄一郎  
産婦人科 黒瀬喜子  
産婦人科 魚谷隆弘  
産婦人科 長井智則  
産婦人科 高井泰

#### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター母体胎児部門 柏原聡一郎

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：048-228-3681（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：skashiwa@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当科におけるプラチナ抵抗性再発卵巣癌に対する化学療法の治療成績

○研究責任（代表）者：

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 柏原聡一郎